



議員 待機児童解消への取り組みは。

「待機児童緊急対策本部」と「対策室」を設置し、早期に具体的計画を策定し、受け入れ児童の拡大等を順次実施する。

議員 特に待機児童が

多い1・2歳児の今後の対応は。

子ども青少年部長 小規模保育事業所の新設は期待されるが、3歳児の待機児童も多くなっている。小規模保育事業所卒園後の受け皿となり得る幼稚園の預かり保育の拡充推進と、全年齢が入所できる認可保育所の整備、国が提示している緊急対策など、あらゆる待機児童

子ども青少年部長

子ども青少年部長 公立保育園で保育園就職希望者を対象とした説明会や土日に個別説明会を実施、併せて県の潜在保育士就職支援事業の潜在保育士対象の相談会にも参加、現在、10人が短時間保育士として公立保育園に勤務している。今後は、保育の質が低下しないよう努めるとともに、保育士全員が働きやすい職場となるよう取り組みを行う。

待機児童解消の今後の取り組みは「緊急対策本部を設置し早期に対応」 石川 清明 議員



▶笹目東保育園の夏祭り

子ども青少年部長 公立保育園で保育園就職希望者を対象とした説明会や土日に個別説明会を実施、併せて県の潜在保育士就職支援事業の潜在保育士対象の相談会にも参加、現在、10人が短時間保育士として公立保育園に勤務している。今後は、保育の質が低下しないよう努めるとともに、保育士全員が働きやすい職場となるよう取り組みを行う。

その他の質問

Q 中町多目的広場での迷惑行為、市として早急な対応を。 A 警察と連携し、対策を講じていく。

一時保育の福祉的利用の優先受け入れを

議員 急な病気や事故、親族の急病に見舞われた際に子供を預けられる一時保育だが、実際に申し込むと、その他の利用で枠が埋まっており、預かってもらえないことが多いと聞く。優先的に受け入れては。

子ども青少年部長

各保育園で連携することで、可能な限り受け入れる体制を検討する。

蚊媒介感染症の対策を

議員 蚊を媒介とするジカウイルス等への感染が市内や近隣で発生した際に、どのタイミングでどこまで殺虫剤を散布するか等、事前の体制整備が必要では。

福祉部長

迅速な対応ができるよう、庁内の関連部署と協議を行い、発生時の役割や手順の作成を検討する。

防災力

防災マンション認定制度を導入しては

「制度設計を慎重に検討」 馬場 栄一郎 議員



議員 近年、戸田市ではマンションの建設が進み、マンションの災害対策が急務である。地域の防災力を高めるには、マンション管理組合の自主防災活動の取り組み強化が求められる。防災力向上のために、他市で行っている「防災マンション認定制度」を導入してはどうか。

議員 マンションの自主防災組織の育成は、地域の自主防災会にとっても、情報収集、安否確認、要援護者の救護、避難所の運営などの観点から、負担軽減につながるかと考えるが。

議員 マンションの防



▲仙台市杜の都防災力向上マンション認定マーク (仙台市都市整備局ホームページより)

防災強化のための支援を地域の自主防災会を通じて行ってはどうか。

副市長就任の抱負は

議員 首長経験者の副市長就任は異例である。就任における抱負は。

副市長 内部的な市長の補佐役といったイメージにとどまらず、より積極的に、全力で、市長の掲げる市政を実現することにより、本市のさらなる発展に取り組んでいく。

その他の質問

Q 子乗せ自転車の安全な通行は。歩道通行可にできないか。 A 自転車レーンの幅を確保し対応する。

Q 教育改革を推進すべき。新しく導入した指導方法の効果検証は。 A 指導方法と学力の伸びとの関係を分析・研究し、教育施策に反映するとともに、結果は学校現場にフィードバックする。

Q 熊本地震の教訓を戸田市で生かすべき。 A 防災拠点における非構造部材の耐震化、企業との防災協定の締結、住宅の耐震化に向けた働きかけや融資制度の紹介を検討する。

医療費適正化

生活保護医療と子ども医療にも実施すべき

「全庁的な課題として取り組む」 真木 大輔 議員



議員 無料で受診できる生活保護受給者として

民健康保険で取り組んでいる医療費適正化事業を、これらに対しても実施すべきでは。

福祉部長 生活保護医療費の十分な分析に基づき、計画的・戦略的な取り組みを検討する。

子ども青少年部長

費の分析、市民へのさらなる啓発、明細書等での自己負担額提示、ジェネリック医薬品推進を検討する。

財務部長

全庁的な課題として、市の財政負担の適正化に取り組む。

	平成26年度	平成27年度	前年度比
医療費の戸田市負担分			
生活保護医療費	4億5747万円	5億1947万円	6200万円 増加
子ども医療費	5億3980万円	5億7635万円	3655万円 増加

市負担分が 年間で約1億円増加

▶医療費の戸田市負担分が急増しています。分析に基づいた医療費の適正化が急務です。

「朝は父親、帰りは母親」を認めよ 「規則上、認められない」 酒井 郁郎 議員



議員 朝、父親が子供を保育園まで送り、夕方、母親が迎えに行く「送迎シエア」は、帰りの遅い父親が育児参加を行う一つの方法である。ところが、駅前駐輪場

「子育てのまち」の看板が泣きますよ

のゲートの導入により、4月から子乗せ自転車による送迎シエア利用ができなくなりました。これまで非常に多くの共働き家庭が送迎シエア利用により子育てをしてきた。今後、も認めてもらえないか。

市民生活部長

従前より個々の申請者に対し利用許可を行っているため、規則上、認められない。

議員

市の非論理的な方針が、ただでさえ大変な共働きの子育てに、余分な金銭的、時間的負担をかけている。



▶自転車駐輪場のゲート(写真右側)と子乗せ自転車

※ジカウイルス……妊婦が感染すると小頭症の子供を出産する可能性があると言われている。発症率が低く症状も軽いため、本人の自覚がないまま感染が広がる恐れがある。